

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

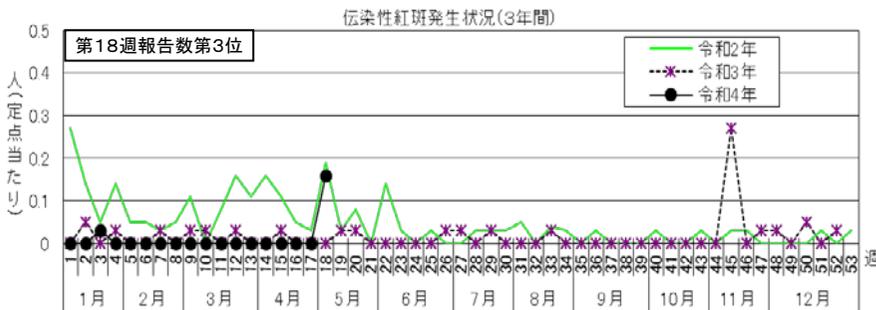
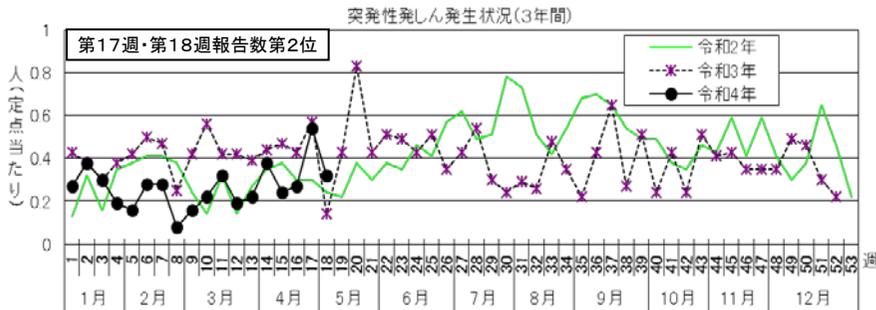
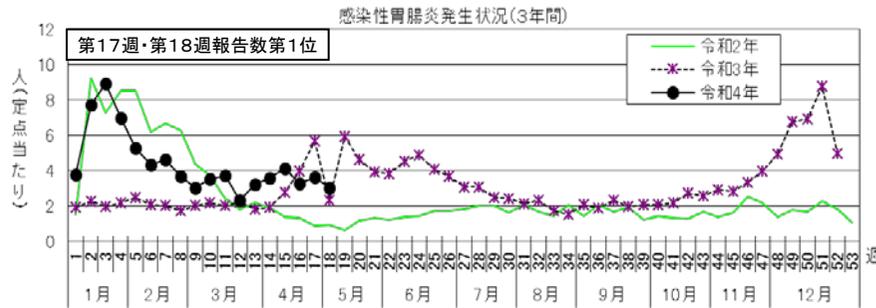
令和4年4月25日（月）～5月1日（日）〔第17週〕及び5月2日（月）～5月8日（日）〔第18週〕の感染症発生状況

第17週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 突発性発しん 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

第18週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 突発性発しん 3) 伝染性紅斑でした。

第18週の感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.03人と前週（3.59人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

第18週の突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.32人と前週（0.54人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。



知っていますか？～アデノウイルスによる感染症～

アデノウイルス感染症は、呼吸器症状や眼症状、消化器症状等多彩な症状を呈するウイルス性疾患です。アデノウイルスには多くの血清型があり、型によって出現する症状の傾向が異なります。代表的な疾患としては、咽頭結膜熱や流行性角結膜炎等があり、特に咽頭結膜熱は例年初夏から夏にかけて流行するため、これからの時期は報告数が増加する可能性があります。

アデノウイルスは感染力が強く、飛沫や接触により感染するため、保育園等の集団生活の場ではタオル等の共用は避け、手洗いや手指消毒等の予防対策を徹底しましょう。

<p>咽頭結膜熱について</p> <p>感染経路 接触感染、飛沫感染</p> <p>潜伏期間 5～7日間</p> <p>主な症状 突然の発熱（39度前後）、のどの痛み、結膜充血等 ※基礎疾患等を有する児では重症化の傾向がある。</p>	<p>流行性角結膜炎について</p> <p>感染経路 接触感染</p> <p>潜伏期間 8～14日間</p> <p>主な症状 流涙、目やに、結膜充血、まぶたの腫れ等 ※細菌との混合感染により、失明することもある。</p>
---	--

予防対策

手洗い・手指消毒を徹底する。

タオルやおもちゃの共用は避ける。

プール等の利用前後はシャワーを浴びる。

